

栃木県家庭教育オピニオンリーダー連合会 芳賀ブロック研修会 実施報告



家庭教育オピニオンリーダーの活動の活性化と充実を目指して実施されている
家庭教育オピニオンリーダー連合会芳賀ブロック研修会が、10月11日（金）
に芳賀町民会館ホールで開催されました。

研修会では、さら助産院院長 直井 亜紀氏を講師に、「大人から 明るく伝えたい 性教育」と題して講演が行われました。

講師である直井氏は、埼玉県八潮市において、小学6年生と中学3年生を対象に「いのちの授業」を13年に渡って行っています。前半は、日本における性行動の現状や性を伝えるときに大事にしたいポイントなどについて説明がありました。その上で、家庭でしか伝えられない大切なこととして、「いやだと思ったらその気持ちを大事にすること」、「誕生や成長のエピソードを伝え、あなたがいてくれてうれしいということ子どもたちに話していくことの大切さ」などについてお話しされました。後半は、実際に子どもたちに行っている「いのちの授業」の映像や授業を受けた児童生徒の感想を紹介されました。涙を流しながら話を聞く受講者もあり、熱心に耳を傾ける様子が見られました。子どもたちの幸せな成長を目指して、家庭教育オピニオンリーダーとして今後どのように活動していけばよいか考える契機となる、学びの多い研修になりました。



交流会では、今年度の家庭教育オピニオンリーダー研修受講者と芳賀ブロックの会員の方々が集い、情報交換を行いました。

「〇〇の秋を楽しみたい」の一言を交えて自己紹介を全体で行った後、昼食を食べながらの情報交換を行いました。和やかな雰囲気の中、支部の活動についての説明や活動への想いについてお互いに話しました。受講者は、今後の活動への意欲を高めるとともに、支部の方々とのつながりが生まれたよい機会となりました。



芳賀ブロックの皆様、大変お世話になりました！

